



「さっぽろっ子環境ウィーク」における SDGs アクション

宣 言

「できることから始めよう ～三里塚 SDGs～」

様々な教育活動を通して、子どもたちの環境問題への意識が生まれています。小さなことであっても「できることから始め、無理なく続けること」を目指していきます。



SDGs アクション

「小さな種から大きくなあれ」

生活科の学習では、1年生はアサガオ、2年生はミニトマトの種を鉢に植え、一人一人が育てています。小さな種から芽が出て、花を咲かせ、実を付けるといった植物の成長に日々感動しながら、大切にお世話をしました。花が枯れた後にできたアサガオの種は、次年度の新1年生へプレゼントする予定です。命から新しい命へとつながりも実感する学習となりました。



「水はどこから」

毎日、清潔な水が当たり前のように蛇口をひねると出てきます。4年生の社会科の学習では、安全で清潔な水がどこでどのように作られているのかを学習し、また、森林を育てることが水を守ることにつながることも知りました。学習のまとめとして、水道記念館を見学することで、さらに理解を深める姿が見られ、様々な場面で「節水」を意識することができるようになりました。



成 果

校地内の草花や育てている植物の成長は、子どもたちが「命を大切にする心」を育む大切な機会となっています。また、社会科や総合的な学習の時間を通して、水やごみ問題をはじめとした環境問題にも関心を持ち、他学年へ学習したことを発信することができました。

次年度の取組に向けて

次年度以降も身近な問題から視野を広げつつ、一時だけではなく、無理なく続けられる活動を目指していきたいです。また、保護者の方や地域の方へも発信し、互いに協力できる場を模索していきます。